

重度障害者と支援者のための ICT コミュニケーション支援講座(盛岡)

～ 「Last 1 feet」 の解消をめざして ～

重度の障害者でも ICT 機器をうまく活用すれば、生活を便利にするだけでなく、社会参加さえも可能になりました。しかし、ICT 機器までの「Last 1 feet」(最後の 30cm) が解消できずに利用できない人々がたくさん残されている現状があります。

このイベントでは、「Last 1 feet」を解消するためにどうしたらよいか、参加者みなさんと一緒に、技術・環境・制度・支援環境など多面的に事例を通して考えていきます。ICT 機器は重度の障害者にとって大きな効果を発揮します。全盲でも呼吸器を付けた ALS 患者でも。それ自体、先人達によって 30 年以上前から叫ばれていましたが、まだまだ効果的な利用が進んでいないのが現状です。特に岩手県では、支援者不足や移動の困難から孤立した障害者が少なくありません。

それでは、当日は「Last 1 feet」を解決するための機器などをたくさん準備してみなさんをお待ちしております！

実行委員長 伊藤ふみひと (一橋大学)

日 時：2014 年 3 月 15 日 (土) および 16 日 (日)
9:00 開場 10:00 開始 18:00 終了 (予定)

会 場：ふれあいランド岩手 ふれあいホール
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳 8 地割 1 番 3

参加費：1,000 円 *資料および工作実習費込み

備考：昼食を持参してください *両日ともランチセッションを行います
原則として、2 日間の参加をお願いします *代理参加も可能です

共同主催：重度障害者と支援者のための ICT コミュニケーション支援講座実行委員会
岩手県難病・疾病団体連絡協議会/NPO 法人 ICT 救助隊/NEC CSR 事業部

協 賛：一橋大学/岩手県立大学/岩手病院/ヘルパーステーションほのか

後 援：岩手県盛岡となん支援学校

申込先：岩手県難病・疾病団体連絡協議会/NPO 法人 ICT 救助隊

「参加申し込み書」を FAX またはメールにてお送りください。

もしくは、Web フォームで必要事項を記入の上送信してください。

FAX 019-637-7626 (岩手県難病・疾病団体連絡協議会)

メール event@rescue-ict.com (NPO 法人 ICT 救助隊)

Web フォーム <http://www.rescue-ict.com/>

講師紹介（順不同）

2014年2月8日現在

氏名	所属	紹介
井村 保	中部学院大学	意思伝達装置の調査研究の第一人者。厚生労働省の制度設計における主要メンバーです。
矢羽々 京子 根田 豊子 大橋 絹子	岩手県難病連	岩手県難病連スタッフ。岩手県内にとどまらず日本中を駆け巡り精力的に活動されています。
プリマ・オキディッキ	岩手県立大学	ソフトウェア情報学部の准教授。視線入力装置&ソフトウェアや行動分析ソフトウェアを研究しています。
吉藤 オリィ	オリィ研究所所長	自身の長期にわたる入院経験をもとに、コミュニケーションロボットを開発しました。
板倉 ミサヲ	72歳の中学生	72歳の中学生。幼少時の高熱で小児麻痺となり、四肢麻痺の障害者に。現在、訪問教育により中学校課程を学んでいます。
伊藤 ふみひと	一橋大学	意思伝達装置等の調査研究や重度障害者のICTを使ったコミュニケーション支援活動に従事しています。
橋本 みさお	NPO 法人さくら会	ALS 患者当事者。「口文字盤を活用したコミュニケーションの第一人者です。厚労省科研の研究班の班長をこなす活動的な方です。
今井 啓二 仁科 恵美子	NPO 法人 ICT 救助隊理事	難病患者にたす ICT を使ったコミュニケーション支援を行っています。講座は全国で開催し受講者はのべ 1500 名をこえます。
馬場 寿実	NPO 法人 ハーモニーアイ	「50 代からの iPad」の著者。iPad 利用によるアクセシビリティ普及からシニアを対象とした講座開催など幅広い活動を行っています。
河野 定男	宮崎東病院	筋ジストロフィー患者当事者。ICT を駆使しコミュニケーションを広げ、最近は「でき iPad。」をよく利用しています。
水野 昌宣	岩手医科大学	神経内科医。本講座では唯一の神経内科医師です。岩手県難病連の活動にも積極的に参加しています。
山川 志野	岩手病院	作業療法士。本業の合間を縫って、岩手県内の難病患者支援に関する講座の開催や調査を行っています。
畠山 駿也	フリークリエイター	筋ジストロフィー患者当事者。紫波町在住。
田代 利勝	ALS 協会	軽米町在住の ALS 患者当事者。「伝の心」を使いこなし、日々のコミュニケーションから趣味の懸賞応募まで行っています。

重度障害者と支援者のための ICT コミュニケーション支援講座(盛岡)

1日目 スケジュール (2014年3月15日土曜日)

時間	内容	講師/担当
9:00	開場	
	参加受け付け・機器体験	
10:00	オープニングセッション	
	開会のあいさつ・講師紹介	
10:15	障害者と ICT	
	○ ICT 支援技術の歴史 ○ 72 歳の中学生 板倉ミサヲさんと ICT ○ (教育と ICT) (仮称)	伊藤ふみひと 板倉ミサヲ
11:00	よく使われる福祉機器と ICT 支援技術	
	○ 市販機器から最先端機器の紹介と実演 ○ これからの ICT 支援機器のありかた	ICT 救助隊, 岩手県立大学 ほか
12:00	ランチセッション (昼食持参)	
	○ 岩手県立大学における支援技術の研究事例 ○ (未定)	プリマ・オキディッキ, 学生 (未定)
13:15	コミュニケーションロボット「オリヒメ」	
	○ 「オリヒメ」開発者による講演&質疑応答	オリィ吉藤
14:30	岩手県内における神経難病・重度障害者の ICT 利用例	
	○ 神経難病とは? ○ ALS 患者の ICT 利用環境 ○ 岩手病院神経難病患者の ICT 利用環境 ○ 頸椎損傷者による ICT 利用とその効果	水野昌宣 講師&患者当事者 講師&患者当事者 講師&患者当事者
15:40	岩手県(地方)における ICT 支援のゆくえ	
	○ 支援の現状と課題 ○ 遠隔操作支援と SNS による情報共有	難病連 ほか 伊藤ふみひと
16:40	座談会 ~障害者と ICT~	
		(参加者)
17:00	交流会	
	会場にて開催	(参加者)

講座内容は予告なく変更になる場合があります
最新情報は、「ICT 救助隊」のサイトをご覧ください

重度障害者と支援者のための ICT コミュニケーション支援講座(盛岡)

2日目 スケジュール (2014年3月16日日曜日)

時間	内容	講師
9:00	開場	
	参加受け付け・機器体験	
10:00	ICTを使わないコミュニケーション支援技術	
	○ 文字盤と口文字盤によるコミュニケーション	ICT 救助隊, 患者当事者
11:00	スマホ&タブレット端末を使ったコミュニケーション技術	
	○ でき iPad。の利用 ○ ワンスイッチによるスマホ&タブレット操作	河野定男 (スカイプ参加) 患者当事者
11:30	福祉機器の公費補助制度	
	○ 公費補助制度による機器購入について	井村保
12:00	ランチセッション	
	○ 高齢者のための iPad 講座	馬場寿実
13:15	いろいろなスイッチと ICT コミュニケーション	
	○ いろいろなスイッチの紹介 ○ スイッチで使えるコミュニケーション機器	岩手病院, ICT 救助隊
14:30	クロージングセッション	
	○ 全体を通しての質疑応答 ○ 閉会のあいさつ	
16:00	工作実習 ~身の回りのものを活用したスイッチの作成~	(先着30名)
	○ プリン・ヨーグルト容器を使ったスイッチ ○ スイッチインターフェースの作成 ○ 自作スイッチを使ったタブレット&PC 操作	岩手県立大学, ICT 救助隊

講座内容は予告なく変更になる場合があります
最新情報は、「ICT 救助隊」のサイトをご覧ください

重度障害者と支援者のための ICT コミュニケーション支援講座(盛岡)

～ 「Last 1 feet」 の解消をめざして ～

2014 年 3 月 15-16 日開催 (ふれあいランド岩手)

参加申し込み書 (締切：3 月 13 日)

お 名 前： _____

ふ り が な： _____

住 所：(自宅・勤務先) *いずれかに○を付けてください
〒 _____

電 話 番 号： _____

メー ル ア ド レ ス： _____

所 属： _____

区 分： *該当するものに○を付けてください

障害当事者, 家族, 教員, OT, PT, ST, 医師, 看護師, 保健士, 介護士,
ヘルパー, 保育士, 社会福祉士, ケースワーカー, 生活指導員, 学生,
研究職, 福祉機器開発, 福祉機器販売, 福祉機器相談員,
パソコンボランティア, 行政職, その他 ()

工 作 実 習： 参加する ・ 参加しない

講座に期待すること：

送信先：岩手県難病・疾病団体連絡協議会

FAX 019-637-7626 メール event@rescue-ict.com